

2児の母 37歳疾走

9年ぶり大阪でマラソン

明石市出身で、一九九二

年バルセロナ五輪女子マラソン代表の松永（旧姓・小嶋）由水さん（三）が二十五日、大阪市の長居陸上競技場で行われた大阪国際女子マラソンに9年ぶりに出場した。2児の母として参加し、2時間58分52秒の58位でゴール。「初めての時はコースもよく分からなかったが、今回は周りが見えて楽しく走れた」と笑顔を見せた。（14面参照）

トップに遅れること35

分。ゆったりした足取りでゴールすると、17年前と同

バルセロナ五輪出場 松永由水さん

じ笑みを見せた。「後半は足に来た。昔はもっと楽だったのにな」と周囲を笑わせた。

九二年、この大会で初マラソンで優勝。2時間26分26秒のタイムは当時の日本最高で、初マラソン世界最高記録。五輪代表となり、無名の20歳は一躍脚光を浴びた。

だが、五輪では重圧に苦ししみ、2時間58分18秒の29位。その後も伸び悩み、九九年に引退した。

転機は二〇〇六年。2人目を出産後、自宅がある福

ゴール後、笑顔でスタンドに手を振る松永由水さん（25日午後、長居陸上競技場）（撮影・山崎 竜）



岡市内で実業団の恩師と偶然出会い、競技を再開。1年前から練習を始め、父の立郎さん（父）も明石の実家から駆けつけて子育てを手伝った。この日、目標にしていた。今後の活動に意欲を見せ

（伊藤大介）